学校の環境を整える

四日市市立内部中学校 第11号

お礼が遅くなりましたが、6月4日(土)に実施しました『通学路除草作業』には、多くの保護者の皆さまにお手伝いいただき、感謝しています。誠にありがとうございました。その際にもお話ししましたが、生徒たちが生活する環境は、可能な限り自分たちの力で整備することが大切だと思っています。けれども、中学生の力では十分に対応できない部分を、保護者の皆さまの力をお借りしました。おかげで、通学路はとてもきれいになり安全に登下校することができます。P T A本部役員や環境部の委員さんをはじめ、保護者の皆様や参加していただいたすべての方に感謝いたします。

身の回りを整理整頓することは、学校に限らず、各ご家庭においても大切なことです。「物がきちんと管理できていることは、情報や思考が整理されていること」といった例えもあります。また、きれいな環境で生活していると、自ずと気持ちや行動が整い、スムーズに一日を過ごすことができます。特に学校は多くの生徒や教師が一緒に生活している場ですので、みんなできれいにして、みんなが気持ちよく生活することが肝要です。環境は自分たちで整えるべきです。

6月は生徒指導の目標を「きれいな学校」と定めて、教師から生徒たちへ、以下のようなことを呼びかけています。「教室や廊下にゴミは落ちていないか」「机やロッカーの中は整理されているか」「トイレのスリッパは揃っているか」「雑巾はきちんとかけてあるか」「掲示物は丁寧に貼られているか」等ですが、言われなくても

しっかりと取り組んでいる生徒が多くいます。毎日の清掃活動にも、意欲的に取り組んでいる生徒が多いことは、嬉しい限りです。もちろん『美化』の面だけでなく、「危険な箇所はないか？」

「破損している所はないか」と言った安全面における点検も大切で随時行っています。それ以外にも、「防火設備点検」「消火器点検」「エレベーター点検」「照度検査」「水質検査」等の、様々な点検等を行っています。安心して生活することのできる環境を整えることも重要です。

繰り返しになりますが、学校がきれいで安心な環境であることは、とても大切なことです。学校に関わるすべての人の心掛けと行動で、そうなることを心より願っています。

素敵な掲示物

5月のことになりますが、教室棟3階東の掲示板に、右のような掲示物が貼られているのに気づきました。とてもきれいでわかりやすい内容でしたので、「いったいどなたのお仕事か？」と職員室で尋ねたところ、内部東小学校の栄養教諭である、井原尚子先生が製作して掲示してくださったとのことでした。

掲示物のタイトル『Bon Appétit』は、フランス語で『良い食欲』という意味で、『「食べること」について特集されていました。今回は「糖質」や「ビタミンB1」がどのような栄養素で、どのような食品に含まれているか

を、イラストでわかりやすく示されていました。また、『行ってみたい国と食べ物を紹介しよう!』や『Pea Pea Bean!』と初夏に実る様々な「豆」を紹介するコーナーもありました。

栄養教諭は、食に関する様々な指導を「兼務」という形で複数校に渡って行っています。

小学校では『給食』という共通の食体験を通して、『旬の食材や地元の食材を知ること、食べ物を通じて地域やそこに住む人とつながること、食べることの楽しさや重要性、

食事のマナー等、様々な食に関する指導、『食育』を行ってくださっています。また、アレルギー対応も行っています。

私たち人間にとって「食べること」は、生きていく上で重要で欠かせないことです。身体をつくることも、動かすことも、考えることも、すべて食べ物からの栄養で成り立っています。『「食べること」の大切さや気をつけるべきことについて、学校だけでなく各家庭においても、考えたり話し合ったりすることが重要です。なお、中学校でも来年度からは給食が始まります。

交通安全の推進

先日、四日市南警察署と四日市南地区交通安全協会の担当の方が来校され、昨年度本校が「交通安全推進モデル校」に取り組んだことに対しての、感謝状を届けてくださいました。

「交通安全」に関しては、上記のような形で取り組むことも効果的ですが、『大切な生命や身体を守るために、普段から心がけて実践することがとても重要です。最近自転車の事故が多発しており、大変心配しています。自転車事故は、自身が怪我等をするだけでなく、他者に怪我等を負わしてしまうこともあります。交通ルールを守ることはもちろんのこと、自転車を安全に運転する技能を高めることも必要です。『自分を大切にする』『周りの人を大切にする』は、『人権』の基本でもあります。